宿泊税の活用状況について（令和7年度）

宿泊税について

福岡県では、福岡県全体の観光の魅力を高め、旅行者の皆様の満足度向上を図るため、宿泊税を導入しています。

この宿泊税を活用し、令和7年度は、第三次福岡県観光振興指針の考え方に沿って、1　受入環境の充実、2　観光資源の魅力向上、3　戦略的なプロモーション、4　観光振興の体制強化の取組を実施しましたので、ご報告します。

今後も、宿泊税を活用した効果的な事業の実施により、県全体の観光振興につなげてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

令和7年度宿泊税の概要

〇宿泊税収　1，948，264千円

〇宿泊税の賦課徴収に要した経費　134，555 千円

（うち宿泊税充当額　111，493 千円）

〇宿泊税を活用した事業費　2,043,288 千円

（うち宿泊税充当額　1，898，939千円）

※宿泊税収と充当額の差額は、福岡県宿泊税基金を取り崩して充当

（第三次福岡県観光振興指針の柱ごとの充当額）

（単位：千円）

指針の柱	事業費	うち宿泊税
1　受入環境の充実	188,613	174,164
2　観光資源の魅力向上	219,965	210,647
3　戦略的なプロモーション	997,934	925,038
4　観光振興の体制強化	636,776	589,090
（うち 市町村への財政的支援）	（419,637）	（419,637）
合計	2,043,288	1,898,939

※各指針の柱ごとの主な実施内容については、次ページ以降に記載しています。

1　受入環境の充実

旅行者の皆様の満足度向上を図るため、宿泊事業者に対して生産性向上に向けた設備導入の支援を行いました。また、高齢者の方や障がいのある方など誰もが安心して旅行を楽しめる観光地づくりを目指し、ユニバーサルツーリズム推進の取組として、観光事業者向けの研修や多様な顧客への接遇等を指導するアドバイザーの派遣を実施したほか、ユニバーサルデザイン化に伴う設備導入を支援しました。

○ 宿泊業における生産性向上の取組を支援



旅の満足度を高める上質な客室へのリニューアル



最新調理機器の導入による調理業務の効率化

○ ユニバーサルツーリズム（誰もが安心して楽しめる旅行）の推進



宿泊施設の浴室のユニバーサルデザイン化を支援
（車いす利用者に配慮した腰掛台や手すりの設置）



タクシー事業者に対し、ユニバーサルデザインタクシーの車両導入を支援



観光事業者の従業員に対し、障がい別の配慮に関する研修を開催



観光事業者に対し、多様な顧客への配慮や接遇を指導するアドバイザーを派遣（視覚障がい体験）

2　観光資源の魅力向上

伝統文化の体験機会を創出するため、久留米絣産地において、年間を通じて工房見学や体験が出来る体制を構築しました。また、温泉地のさらなる賑わいづくりとして、夜間・早朝に楽しめるイベントを実施しました。さらに、万葉歌碑を観光資源として活用するため、セミナーの開催や活用に向けた取組を支援しました。

○ 久留米絣のオープンファクトリー化の推進



久留米絣産地において年間を通して工房見学や体験が出来る体制を構築



県観光情報サイト内に各工房の特色や見学・体験内容を紹介する特設ページを開設

○ 温泉地の賑わいを創出するイベントを開催



夜間の賑わい創出を図るため水辺広場や河川敷をライトアップ
（原鶴湯ったりよかぜ祭り）



宿泊者向け早朝イベントとして筑後川遊覧船を運行
（原鶴湯ったりよかぜ祭り）

○ 万葉歌碑による県内周遊の促進



万葉歌碑を観光資源として活用する取組を支援
（PR動画の作成や看板の設置など）



万葉歌碑の活用方法や魅力を発信するためのセミナーを開催

3　戦略的なプロモーション

閑散期の平日にお得に宿泊してもらえる「ふくおか平日おトク旅観光キャンペーン」を実施しました。また、県内の観光地を気軽に巡るバスツアー「よかバス」を実施しました。
さらに、「食」の魅力を知っていただくため、世界的グルメサイトのイベントでPRを行ったほか、県内温泉地を紹介する「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置しました。あわせて、インバウンド誘客に向けた現地セミナーの開催などを行いました。

○ ふくおか平日おトク旅観光キャンペーン



閑散期の平日における宿泊割引キャンペーンを実施

○ 県内周遊バスツアー「よかバス」



県内を手軽に周遊できるバスツアー「よかバス」を実施

○ 「食の王国・福岡」の魅力を発信



世界的グルメサイト「ラ・リスト」が主催するイベントでのPR

○ 「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置

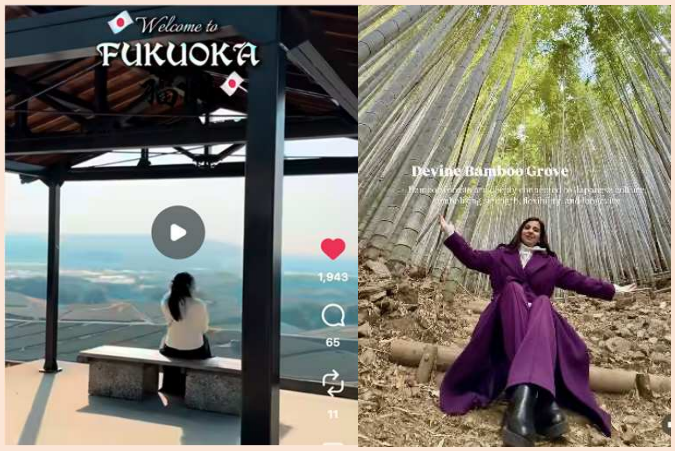


福岡空港国際線の観光案内所に「食」と「温泉」の魅力を発信するコンシェルジュを設置

○ 国・地域別の戦略的なインバウンドの誘客



現地旅行会社向け観光セミナーの開催（パリ）



イスラム圏出身のインフルエンサーを活用した情報発信

4　観光振興の体制強化

宿泊業界の魅力を広く知ってもらい、働く人を増やすため、宿泊業に特化した合同会社説明会や業界研究会を開催しました。また、ベジタリアン・ヴィーガン・ムスリムといった食の多様性への対応を推進するため、飲食事業者向けにセミナーを開催したほか、メニュー開発支援を行いました。さらに、市町村が地域の現状と課題を踏まえ、創意工夫を凝らした観光振興施策が実施できるよう、宿泊税交付金を交付しました。

○ 観光業の人材育成・雇用促進



宿泊業に特化した合同会社説明会を開催



宿泊業界の魅力やキャリア形成について
理解を深めるための業界研究会を開催

○ 食の多様性対応の推進



飲食店や宿泊施設等を対象に、食の多様性を
普及・啓発する試食体験セミナーを開催



食の多様性対応メニューの開発
（ヴィーガン対応の会席料理）

○ 宿泊税交付金を活用した市町村の観光振興施策の例



夜間の観光地の賑わいを創出するため
旧伊藤伝右衛門邸庭園のライトアップを実施
（飯塚市）



旧志免鉱業所竪坑櫓の創業当時の様子や
歴史が体験できるVR映像コンテンツを制作
（志免町）